

聖書を拝読していると、「時」ということばがよく出てきますが、ギリシャ語テキストは**カイロス**(*καιρός*)と**クロノス**(*χρόνος*)の二つの異なる言葉を用いています。これは、よく知られた区分ですので、参考のため、ご紹介させていただきます。なお、この区分については、キリスト教関係の辞典には極めて詳しい説明がありますが、ここでは新改訳聖書(注解・索引・チェーン式引照付 いのちのことば社)に極めて簡潔・明快な説明がありますので、これを引用させていただきます。

「聖書では、神が救いの計画の上で特に定められた時点を示すことば(ギリシャ語で**カイロス**)と、一定の時間的範囲を示すことば(**クロノス**)が用いられる。神が定められた時間(**クロノス**)が満了した時、キリストは肉体をとって来られ、神が定められた時点(**カイロス**)に宣教活動を開始したのである。」
新改訳聖書(注解・索引・チェーン式引照付) いのちのことば社刊

カイロス(*καιρός*)が使用されている聖句の例：

(ネストレ・アーラントギリシャ語新約聖書28版より抽出：訳は新共同訳)

「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。**時**が近づいた。人の子は罪人たちの手に引き渡される。立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

(マタイによる福音書26章45節～46節)

「**時**は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。」

(マルコによる福音書1章15節)

クロノス(*χρόνος*) が使用されている聖句の例：

(ネストレ・アーラントギリシャ語新約聖書28版より抽出：訳は新共同訳)

「イエスは父親に、「このようになったのは、いつごろからか」とお尋ねになった。父親は言った。「幼い**時**からです。」(マルコによる福音書9章21節)

「神がアブラハムになさった約束の実現する**時**が近づくにつれ、民は増え、エジプト中に広がりました。」

(使徒言行録7章17節)

「世々限りなく生きておられる方にかけて誓った。すなわち、天とそこにあるもの、地とそこにあるもの、海とそこにあるものを創造された方にかけてこう誓った。「もはや**時**がない。」

(黙示録10章6節)

以上